

先月、図書館に洋書が入りました。
その中から、英語科の松田彩先生おすすめの
3冊を紹介します。

—Why don't you read English books?

全部読めるか読めないかは気にしなくてもいい。
手に取って、そっと開くだけ。
本に触れて、言葉の魅力を再発見しよう。

『HIDDEN FIGURES』 Margot Lee Shetterly



ソ連との熾烈な宇宙開発競争を繰り広げているアメリカ、NASA のラングレー研究所には、ロケット開発に欠かせない計算を行う優秀な黒人女性たちのグループがあった。その中の一人、天才数学者キャサリンは宇宙特別研究本部に配属されるが、そこは白人男性ばかりだった。仲の良い同僚のドロシーとメアリーも、理不尽な障害にキャリアアップを阻まれていた。それでも夢を追い続けた3人は、国家の一大プロジェクトに貢献するため、自らの手で新たな扉を開いていくのだった。

Aya's comment : とにかくこの本に登場する3人の女性がかっこいい。才能に恵まれていても、肌の色によって仕事に就くことが出来なかったら？十分に力が発揮できなかったら？あなたならどんな風に生きていきますか？

『Charlie and the chocolate factory』 RALPH DAHL

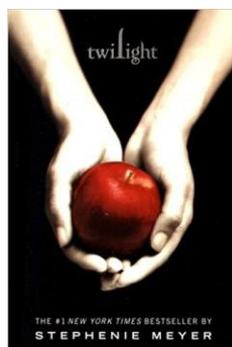


巨大なチョコレート工場がある大きな街の片隅で、貧乏な暮らしを余儀なくされている少年チャーリーとその一家。ある日、チョコレート工場の工場主ウィリー・ウォンカは、「自社のチョコレートの中にゴールデンチケットを5枚封入して出荷し、それを引き当てた子供を工場見学に招待する」と発表した。

チケットを引き当てたチャーリーら5人の少年少女とその保護者の前で、工場の門が開く。そこに広がっていたのは、ウォンカが作り上げた奇想天外な世界だった。

Aya's comment : 日本でも大人気の「チャーリーとチョコレート工場」。色鮮やかな映像や愉快的な音楽で、心躍らされた人も多いのでは？でも、言葉から自分だけの物語を想像するのも、これまたおもしろい。魔法のような世界観が言葉でどのように表現されているのか……。

『TWILIGHT』 Stephenie Meyer



禁断の恋。大きな試練。—これらの言葉は2人の愛をより強く、より大きくしますが、それが、人間とヴァンパイアとなるとよりハードルも高く、より激しいもの。そのハードルの一つ一つを2人の純愛な愛で乗り越えていく……。そこには、仲間たちの協力もちょっとだけ必要♡全米ではハリポタに次ぐベストセラー。

Aya's comment : 全米の中高生に爆発的人気の「トワイライト」。世界の高校生がおもしろいと思う小説・ドラマはどんなものなのか。なぜ、そんなに人気が出るのか。その人気の秘密を、手に取って確かめてみては!!

英語で書かれた本となると初めは少し手に取ることをためらうかもしれません。映画やドラマを先に見ておいて、これらの洋書を手に取ってもいい。逆に原作を読んでみて、映画やドラマを見てもいい。とにかく皆さんが楽しめるような本を選びました。手に取ってほしい。ただその一心です。

